

「森を歩く」 感動から、そして関心へ

秋田森林管理署湯沢支署 増田森林事務所

奥山 邦昌

Kuniaki Okuyama

私の勤務する増田森林事務所の所在する増田町は、「くらしっくロード」と称し、蔵をキーワードとした町づくりを展開していて、古い町並みに囲まれた趣のあるところです。しかもこの蔵は単なる蔵ではなく、住居や茶室をも兼ねており、生活の中にマッチした佇まいです。少し東へ行くと、桜の名所100選に認定された真人公園があり、お花見の季節になると、タイコぎ競争などで多くの観光客で賑わいを見せます。

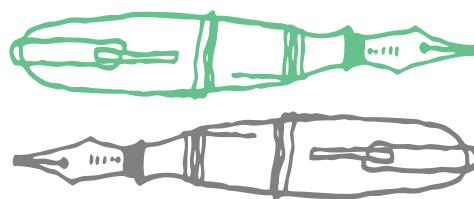
ただしこの公園にも、昨年からポツポツとナラ枯れの被害が出始めました。何とか食い止めようと、ただいま民・国一体になり作戦を展開中です。

食べ物では稲庭うどんが有名で、一度は蔵を見ながら地元で、本場の味を是非ご賞味してみてください。絶対に違うと思います。

併任となっている椿川森林事務所は、一部栗駒国定公園を管轄し、先に環境省から「星空日本一」の称号を受けた東成瀬村にあります。1627mの栗駒山と、1548mの焼石岳は共に日本の名山に認定されていて、焼石岳の秋田県側ルートは、高山植物の宝庫と言われ、初夏から秋にかけては多くの登山客が訪れます。特に八合目の焼石沼周辺の初夏は、数haに及ぶ広大な台地で、ミヤマキンバイ、ハクサンチドリ、リュウキンカ等々、それはそれは色とりどりの花々が咲き誇りまさに圧巻、百花繚乱の様を呈しています。ある時50歳代と思わしき(60歳代かも?)女性の方から「今度生まれてくる時は、絶



初夏の栗駒山



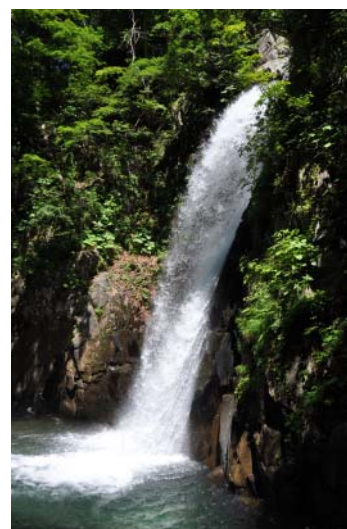
森林官からの手紙

対に営林署に入る」と言われ、仕事とはいえ、時にはこういう場面に遭遇できることも、まさに森林官冥利に尽きるというものです。

また、我が署のかくれた名所として広報(平成22年5月号)で紹介した釣りキチ三平のロケ地となった「天正の滝」も管轄しています。

昨今、登山者のマナーは以前より良くなってきていると思いますが、しかし、ほんの一部でしょうが高山植物の盗採など心ない人がいることも確かであり残念なことです。県及びNPOなど皆さんと連携しながら、啓蒙活動に力を入れているところです。

今年は国際森林年であり、テーマは「森を歩く」です。百聞は一見に如かず、登山をすれば必ず森と出会います。そして良い森と悪い森、自ずと区別もつきましよう。まずは感動から、そして関心へと目を向けてもらう、これが今の我々の任務のひとつかなと思っています。



天正の滝



漆蔵資料館